



みみだより No.26

鳥取聾学校ひまわり分校

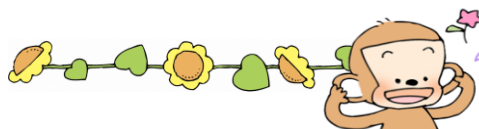
聴能担当

R3.7.15

文責：松本

7月に入り、雨の日が続きましたね。補聴器の調子はいかがですか？

補聴器を外したら電池残量を調べる、補聴器やイヤモールドをきれいにする、乾燥ケースに入れる等、それぞれの年齢に合わせて“自分で補聴器の管理ができる”ようにしていきましょう。



補聴器について知ろう！

補聴器の歴史

みなさんの大事な補聴器がどのように進化したのか見てみましょう。

1500年代以前

補聴器のなかった時代、人びとは動物の角や巻き貝などを耳にあてて音を大きくした。



1500年代

金属製のラッパのような形をした補聴器が登場。電気式補聴器が誕生するまで広く使われた。ベーターベンも使用した。



1900年

電気式補聴器誕生

1950年代

トランジスタ補聴器誕生



箱形

1986年

防水型補聴器誕生



1991年

デジタル補聴器誕生

音を単純に大きくするアナログ補聴器ではできなかった、きめ細かい音づくりができるようになった。

1950年代

耳かけ型誕生

1978年

オーストラリアで人工内耳の初手術



さらに進化している補聴器の機能

★雑音を抑える（ノイズリダクション）

補聴器が人の声と雑音をききわけて。雑音だけを減らして、人の声をききやすくする。騒がしい場所でも、人の声がききやすくなる。

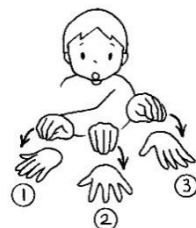
★ハウリングを抑える（ハウリングキャンセラー）

ハウリングがおきそうになったときに、補聴器が感知して、ハウリングの音を打ち消す音を出して、ハウリングを抑える。

上記以外にも、音源がわかりやすい機能、Bluetooth 機能・・・補聴器の機種によって様々な機能が備わっています。



ワンポイント手話



「ちらかす」

「おやこ手話してん」より